

**製品名: HSPC150 ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe84108**

研究使用のみ

## 概要

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB   |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。                      |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。         |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

## 応用

|      |                  |
|------|------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000 |
| 分子量  | 23 kDa           |

## 抗原情報

|              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 遺伝子名         | HSPC150                     |
| 別名           | HSPC150; PIG50; Ube2t;UBE2T |
| 遺伝子 ID       |                             |
| SwissProt ID | Q9NPD8                      |
| 免疫原          | ヒト UBE2T 由来の合成ペプチド          |

## 背景

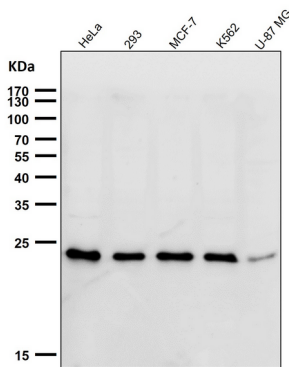
E1 複合体からユビキチンを受け取り、他のタンパク質への共有結合を触媒する。モノユビキチン化を触媒する。マイトマイシン

C (MMC) 誘導性の DNA 修復に関与する。ファンconi貧血複合体特異的な E2 ユビキチン結合酵素として、E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ FANCL と結合し、DNA 損傷経路の重要なステップである FANCD2 のモノユビキチン化を触媒する。

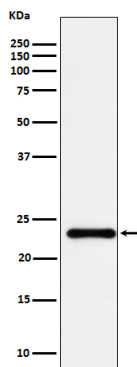
## 研究分野

-

## 画像データ



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



HeLa 細胞溶解物中の HSPC150 発現のウエスタンブロット分析。